

常なる磐

つねなる いわ season II
令和 4年 1月 1日(土)
元旦

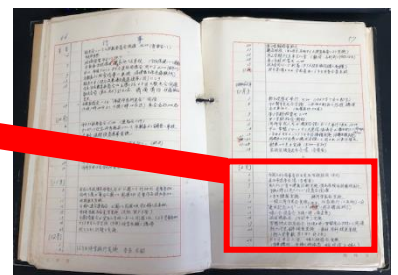
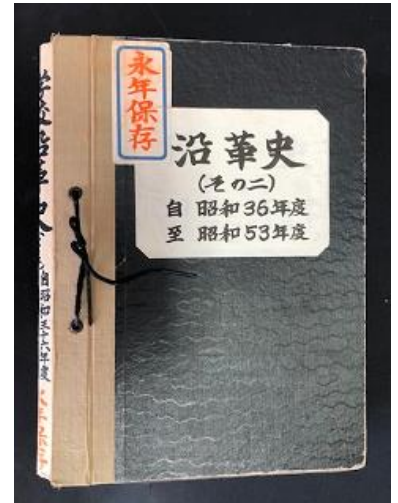
◇ 学校【沿革史】を 紐解いて①

新年 あけまして おめでとうございます。

学校の保管庫には、永年保管の学校【沿革史】がある。

学校の歴史を紐解くことのできる大変貴重な記録だ。

たまたま開いた昭和42年2月(昭和41年度)の頁を紹介しよう。



[2月]	昭和42年(1967) 2月
2	市園工科指導員 先生学校訪問(全日)
4	県知事選挙会場(音楽室)
7	老人クラブ員の健康診断実施(簡易保険局診療班来校、午後2時より老人クラブ役員会開催)
9	6年生種痘実施(校内学芸会実施)
10	一般公開学芸会実施(休日、取員旅行(三谷町))
11	"建国記念の日"につき休業(前日講話終了)
13	婦人会役員会(午後ノ所(宿直室))
16	巡回映画会(午前中)実施
17	常磐地区教員総会(午後4時)常磐南小学校にて開催
22	新入学児身体検査実施(歯科、内科、校医来校(新入児童数 男3女計8名))

一部分(黄色■)に目を通すだけでも、わずか半月の間に①県知事選挙会場、②老人クラブの健康診断、③婦人会役員会と、地域関連事案が行われており、半世紀前は、学校が地域コミュニティの中心であったことが十分に推察できる。

※婦人会役員会が行われた宿直室は、職員室並び(紫枠■)にある。休日を含めた夜間は教職員が交代で寝泊まりし、夜間に学校を管理するものが宿直である。100周年記念誌「緑陰」によれば、昭和44年3月をもって「宿直日直」制度が廃止され、「夜間・休日は教職員不在」とある。

※県知事選挙の投票会場となった音楽室(緑枠■)は、旧校舎で最も大きい教室であった。因みに、旧校舎には屋内運動場(体育館)は無い。



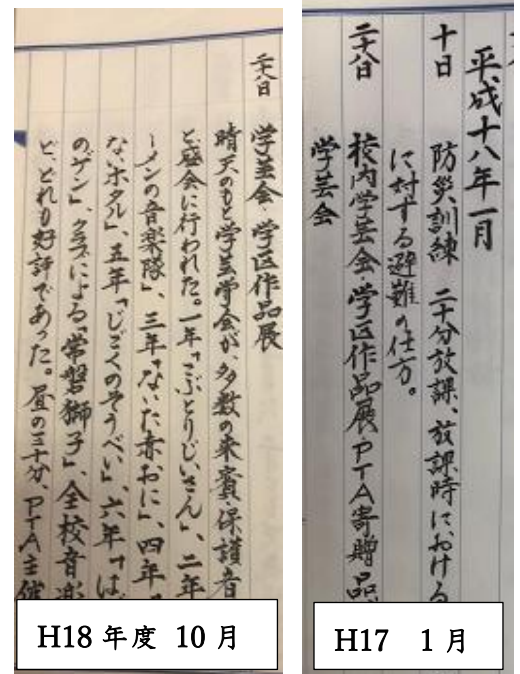
青枠■の「種痘接種」とは、天然痘の予防接種である。ほかにも、当時は「ジフテリア予防接種」「BCG(別称「はんこ注射」：結核予防接種)」、さらに「インフルエンザ予防接種」も確認できた。学校で1年に2回接種する集団予防接種である。自分の記憶にある「鉄砲注射」は、インフルエンザ予防接種である。C型肝炎感染予防で今は姿を消した「鉄砲注射」だが…あの発射音は、まだ耳に残る。

さて、着目したいのが、学習発表会の前身【学芸会】の実施時期(赤枠■上段)である。現在は10月に行っているが、この頃は2月、というよりもひと昔前までは2月の開催だ。おそらく、年度を締めくくる「総括としての発表」の意味もあったと思われる。

本校では、平成18年度(第26代 江坂良夫 校長)から2学期開催に移行している。変更の大きな理由は、2月に開催した場合のマイナス面の対応が大きいと考えられる。

2月は「インフルエンザ流行」の時期である。風邪もひきやすく、欠席が多い時期でもある。保健衛生面での対応により時期をずらしたのは、「耐寒駆け足」や「マラソン大会」も同様である。昨年からは行事開催の有無や見直しを行っているが、これはコロナの影響。子供の健康面への配慮が最重視されるのは、今も昔も変わらない。

さらに、春先に行われていた「小運動会」と秋に行われていた「学区合同運動会」の2つを併せ、5月に実施するように開催時期を変更したことも開催時期変更を後押ししている。



前頁の記録に戻ろう。

面白いのは、**【巡回映画会】**という催しが行われていることだ。当時の子供たちにとって、映画が大きな「おたのしみ娯楽」であったことが分かる。学校に体育館のなかった旧校舎時代での実施。やはり、一番大きい教室の「音楽室」を暗幕で目張りして鑑賞したのだろうか。

記録に残る文字を追い、当時の様子を創造するのも、大変おもしろい。

紹介したように、【沿革史】とは、学校日誌の集約版のようなものである。

よって、ほとんどが文字綴りなのであるが、本校の【沿革史 [その2]】の巻頭に、ご覧のような資料が添付(右写真)されていた。常磐東小学校創立60周年記念リーフレット(1964.3.10 発)である。

校地は、現在の安戸公民館のある場所。表紙写真から【平屋木造校舎】【手狭な運動場】【体育館無し】と、当時の様子が分かる。さて、リーフレットの記載で貴重な事実を確認することができたので、次号で紹介したい。

